

## 2024年1月異業種交流会

開催日:2024年1月18日(木) 18:00~20:00

会場:かぶらや総本店

参加者:清水堪蔵(49C)、新澤洋保(42C)、木村謙之(60W)、秦誠一(H04M)、  
鶴岡徹雄(44M)、二宗光文(46M)

合計6名

「今日は寒いね~」、「お久しぶり元気だった」、「あけましておめでとう、今年もよろしく」  
いろんな挨拶で始まった今年最初の交流会であった。名古屋駅新幹線口からすぐのこの店前には  
人が混雑して小雨模様の日であった。

今回の参加者は6人で、現役が2人、化学系が多い中で今回は機械科が3人と、それぞれ今  
までとはちょっと変わった構成となった。

能登半島地震の話になり、今までにない揺れを感じて外に避難したという人もいた。  
この時関東にいた人は、ほとんど感じなかったといっている。

遡って2011年の東日本大震災の話に進展した。

当時関東にいた人が多く、ビルの60階から歩いて降りたが荷物を持ち出すのを忘れてもう  
一往復したとか。とにかく東京の交通はマヒしてパニック状態。  
タクシーが拾えなく歩く方が早い。ある人は安い靴を買ったり  
自転車を買ってとにかく帰ったという人もいた。

秦さんは12月に100年以上の歴史ある弓道部の総会に幹事  
として携わり、桐生に行ってきた。桐生の街の様子はどうだった  
かを話してもらった。

桐生の街は以前に比べて、古民家を活用した店なども出来て  
きて少しずつ元気になっている、と話してくれた。



宝徳寺の床紅葉 (ネットから)

弓道部は学生とOBの繋がりが非常に強く、コロナ禍で厳しい状態の時も、学生を金銭的な  
面も含めて活動をサポートしており、定期的な会報も発行している。今後は費用等の面から紙  
とメールでの配信など新しいやり方が必要と紹介してくれた。テニス部や野球部も学生とOB  
の繋がりが強いということであった。

式典の開催された「美喜仁桐生産業文化会館」の「美喜仁」の意味について話が弾んだ。

物知りの一人が、ビキニの放射能汚染で人もマグロも被害を受けた時、安心でおいしいマグ  
ロをとという願いでつけた名前だと解説し、全員納得。

河内町にある「宝徳寺」の床に  
映る紅葉は素晴らしく見る価値  
があるなどの行楽情報も教えて  
くれた。

今回は地震の話から始まり、学  
生とOBの繋がりの話や、桐生の  
現在の様子など多方面で、勉強に  
なり、また懐かしい思いを蘇らせ  
てくれた楽しい会であった。

現役が2人も入ると雰囲気も  
変わってくることを感じた。

文責 二宗(46M)

